

平成31年第1回（2月）瀬戸内市議会定例会

教育委員会行政報告

市長の行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

行政報告に入る前に、学校教育、社会教育の主な課題について申し上げます。

学校教育においては、子どもたちが「わかった」や「できた」という達成感をエネルギーとし、次への挑戦意欲をもてるよう、特別支援教育の視点や人権意識の醸成に配慮しつつ、日々の授業改善や細やかな生徒指導が充実するよう、教員一人一人のライフステージに沿った指導力向上と一体感のある学校力の向上に取り組む必要があります。一方で、子どもと教職員が向き合う時間を確保することや、教職員自身の働き方改革、子どもたちの安心・安全を支える施設・設備の整備も、さらに推進する必要があります。

社会教育においては、子どもから大人まで楽しめるスポーツ環境の整備、市全体の文化に対する意識を高め、社会教育施設や施策の有機的連携を総合的に進める文化振興計画の策定や、これを推進する体制を整備することについての検討が必要です。

なお、これらの課題への対応のためには所要の措置を講じる必要があるため、今議会に議案を提出しています。

山鳥毛里帰りプロジェクトの進捗状況について、教育委員会が取り組んでいるサポーター研修とプロジェクト会議についてご報告します。

サポーター研修の内容としては大きく2つです。一つ目は、日本刀につ

いての基礎知識や「山鳥毛」の特色や伝来について、元刀剣博物館長の山下茂樹様からご説明いただきました。地元の刀匠の方から、日本刀の伝統技術の継承に取り組む熱い思いをお話いただきました。2つ目には、市長自らが、本プロジェクトに瀬戸内市が取り組むことの意義や目的等について、また、サポーターの方をお願いしたいことや、サポーターになっていた場合のメリットについて説明させていただきました。

このサポーター研修は、11月10日を第1回目として、刀剣博物館の研修室を会場に8回実施しました。その他にも、地元からのご要望をいただいて長船地域を中心に4会場、また、岡山県の職員を対象に県立図書館でも1回、出前による研修会を開催させていただきました。

現在、市内・県内、県外を含めて、約160人の皆さまがサポーターとしてご登録いただいております。それぞれのところで、それぞれの方法でプロジェクトのPRにお取り組みいただいております。このサポーターの皆さまには、本プロジェクト終了後も、引き続き備前長船刀剣博物館や瀬戸内市の応援団となって、瀬戸内市を訪れていただいたり、知人や友人、いろいろな方を連れてきていただいたりできるよう、瀬戸内市の良さや取組、イベント等をお知らせし、縁をつないでいきたいと考えています。

また、本プロジェクトを効果的かつ効率的に推進するため山鳥毛プロジェクト会議を設置しており、委員は岡山県文化振興審議会 白井会長のほか8名、特別顧問として山陽新聞の越宗会長のほか8名、顧問として国会議員、県内の優良企業を代表する方など27名となっています。

第1回プロジェクト会議は、12月1日（土）に開催し、座長を白井氏とし、山鳥毛里帰りプロジェクト等の説明のあと、ご出席の皆さまからプロジェクトの達成に向けた前向きなご意見をいただきました。

今後も多くの方々のご賛同とご協力を得られるよう、プロジェクトの目

的達成に向けて取り組んでいきます。

以上を申し上げ、行政報告に移らせていただきます。

○ 学校施設整備について

現在行っている牛窓東小学校と今城小学校のプール改修工事は、既存のプール本体の土台を残しつつ、新しい水槽を内張りしていく工法により、リニューアル工事を進めています。試運転や検査等が一部、4月にずれ込む見通しとなっていますが、学校関係者のご協力のもと、工事はほぼ順調に進んでいますので、平成31年度のプールの授業については、新しくなった施設を使っただけのものと考えています。

来年度の学校施設整備についても、計画的に実施するため、今議会に所要の予算を計上させていただいていますので、ご理解をお願いします。

○ 美和幼稚園の休園について

美和幼稚園においては、新入園児の入園希望がなく、平成31年度は園児が1人となる状況となりました。教育委員会としては、園児数が極端に少ない園では、集団生活の中で子ども同士が切磋琢磨し合う環境や、人とつながって物事を成し遂げようとする力を育成する点で懸念があります。

これらのことから、在園児の保護者と協議を行いました。その結果から、先の教育委員会議で来年度から美和幼稚園を休園とすることとしました。

○ 夢二のふるさと芸術交流プロジェクトについて

2年目となる夢二コンクールは、12月2日に無事終了しました。日本国内はもとよりフランスからの参加者もあり、16歳から62歳までの応募の中から予選を通過した15人によって本選が行われ、部門ごとの入賞者に対して賞状と記念品が授与されました。事業全体としては、夢二コンクール周知のためのプレミアムコンサートやスクールコンサート、市民が企画、実施する関連イベントなど未実施の事業を含めた参加総人数は、昨年の約6,000人を上回る見込みです。

また、本事業を活用した、市内観光施設などへ多くの人を呼び込む周遊づくりについては、夢二ドライブマップを作成してコンサートなどで配布したところ、約100人の方々が市内観光施設を周遊するなどの効果が得られました。

来年度については、これまでの取り組みを踏まえ市民視点での企画や市民参加のコンサートなどは実行委員会が行い、夢二コンクール、プレミアムコンサート及びスクールコンサートなどは、市が主催することで認知度をさらに高めていきたいと考えています。

○ 瀬戸内市学校給食調理場の運営改善に向けた計画について

現在、邑久、長船、牛窓にそれぞれ学校給食調理場をもって給食の提供を行っていますが、牛窓調理場については、施設や設備の老朽化がすすんでおり、今後に生じる維持管理費や1食単価等のコストの状況から、早期に統合に向けた措置を講ずる必要が生じています。また、正規職員の退職や慢性的な臨時調理員の不足から生じる課題への対応も急を要しています。

牛窓調理場の機能を邑久調理場へ統合し、安全で安心な給食の安定的な提供と食育の充実を図る取組の第1歩として、長船調理場の業務の一部を来年度8月から民間へ委託し、正規職員（再任用職員を含む）を牛窓調理場へ集約することで慢性的な人員不足の解消を図りたいと考えます。これと並行して牛窓調理場の閉鎖と邑久調理場への機能統合に関し、保護者等の関係者への説明や関係機関・業者との調整を行いながら、邑久調理場の拡張や施設設備の整備を早急に進めていきたいと考えています。

その第1段階として、長船調理場の業務委託等に係る所要の予算を今議会へ計上させていただいておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

○ 備前長船刀剣博物館について

博物館では、2月16日から4月22日まで、テーマ展「秀麗なる備前刀の世界展」を開催しています。

今回は、本館所蔵品や寄託品を含める備前刀約40口を展示します。長船派の景光・兼光の刀や、牛窓の遍明院が所蔵する「国重要文化財 大薙刀」の作者である盛光が鍛えた太刀、地元の靱負神社に奉納された刀などの展示を行う予定にしています。

来年度の主な展示は、4月27日から7月7日までテーマ展「日本刀解体新書Ⅱ」、7月13日から9月8日まで特別展「一文字派と長船派」（仮）、9月14日から11月10日まで特別展「関の刀と備前刀」（仮）などを予定しています。

○ 瀬戸内市立美術館について

2月21日から3月13日まで「瀬辺佳子展－異形の隣人たち－」を開催します。瀬辺佳子氏は、東京藝術大学彫刻科を卒業された彫刻家であり、樹脂石こうを使った奇抜な作品は、「人間」をテーマとして、人の動きや表情が抽象的かつ複雑な造形で表現されています。本展では、2メートル近くある大作などの彫刻作品などを展示します。

3月17日から4月15日にかけては、「いつかどこかで出会った君へ 灰原愛 木彫展」を開催します。灰原愛氏は岡山市出身であり、現代彫刻界で、その実力に裏付けされた独自の世界を展開し、芸術界では大きく注目されつつある若手作家です。本展は、国内・海外でも注目されている木彫界期待の新星による公立美術館初個展にあたり、その魅力ある世界を披露します。

また、瀬戸内市協働提案事業として行ってきた「アートでひろがれ！瀬戸内市」も、1月29日には美和小学校の児童に対して対話型鑑賞を中心とした美術プログラムを実施することができました。2月27日には裳掛小学校を予定しています。また、美術館活動をサポートするアートコミュニケーター養成講座も実現し、8人のアートコミュニケーターが対話型鑑賞プログラム等で活動しています。今後はこれらをより発展させた形で、瀬戸内市の文化色豊かなまちづくりを目指していきます。

また、来年度は、6月22日から7月15日まで、地元長船の画家「東原方僊展」、11月16日から1月19日にかけて、「ホキ美術館所蔵展」を開催し、他に7企画展を予定しています。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

平成31年2月20日

瀬戸内市教育委員会

教育長 東南 信行